

平成29年10月20日
熊本県宇城市

おおつかだいちいせき

大塚台地遺跡から弥生時代後期末の首長墓が出土

～地域的な埋葬スタイル、集落と墓域の関係も明らかに～

う き し まつばせまち

宇城市松橋町で予定されている災害公営住宅の建設に伴い実施している発掘調査で、弥生時代後期末(3世紀前半頃)の墳丘墓1基と土壙墓26基が出土しました。

墳丘墓は、首長クラスの人物が埋葬された墓と思われ、それを囲むように土壙墓が出土しました。土壙墓は、掘りくぼめた穴に白色の粘土を敷きつめ遺体を安置する「粘土棺墓」で、宇土半島基部地域のみに見られる地域色の強い埋葬構造です。

また、過去に調査された近隣の集落遺跡(大塚台地遺跡第1次調査)で出土したものと同時期の土器が出土しており、集落に対応する墓域の構造が理解できる貴重な事例です。

市では、現地説明会を開催します。開催日時は以下のとおり。

- 1 日 時：平成29年10月29日(日) 説明は2回 ①10時～ ②11時～
- 2 場 所：宇城市松橋町大野287番地
駐車場は宇城市役所、現地まで約400m徒歩5分(案内有)
- 3 主 催：宇城市教育委員会文化課
- 4 協 力：熊本県教育庁教育総務局文化課

※詳細は別紙を参照ください。

【問い合わせ先】

宇城市教育委員会

文化課 文化財世界遺産係 担当：神川

〒869-0592 熊本県宇城市松橋町大野85

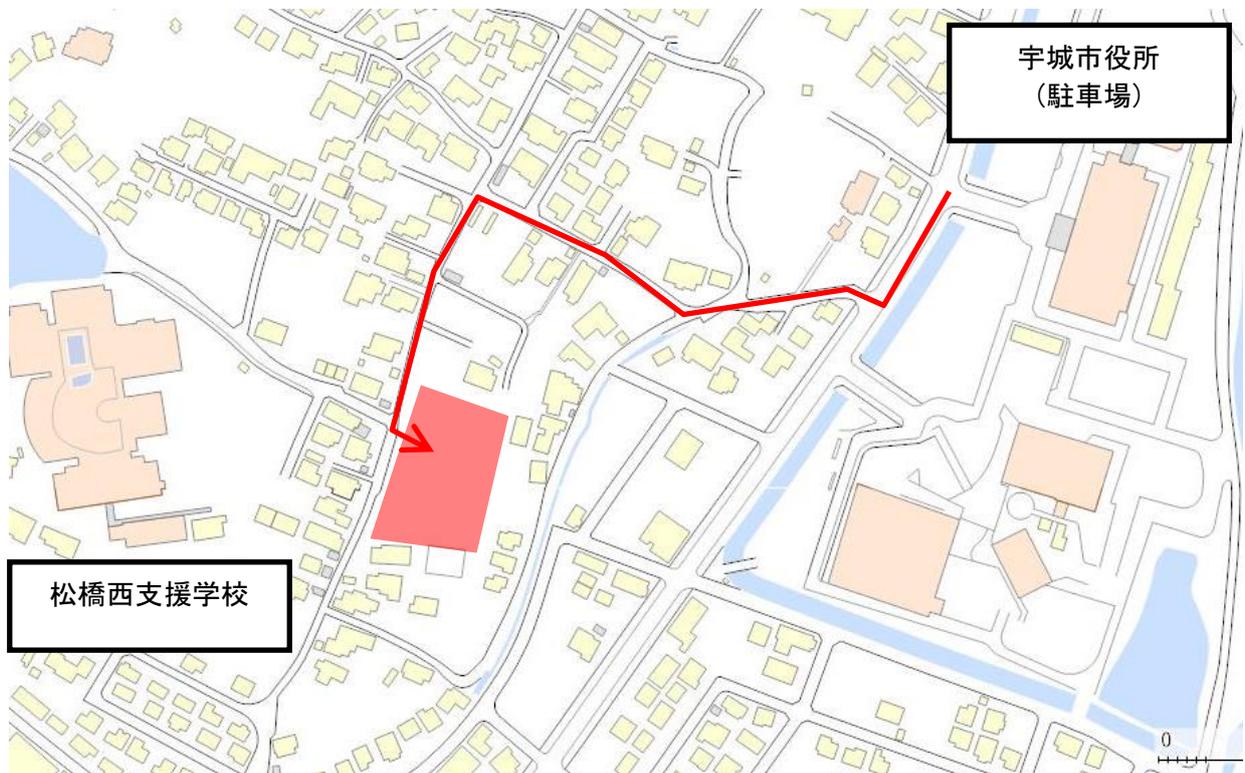
TEL：0964-32-1954(直通)

0964-32-1111(代表)

FAX：0964-32-1137



出土した粘土棺墓



松橋西支援学校

宇城市役所
(駐車場)

現地説明会会場